

リハビリテーション西播磨病院だより

ひかりの都

発行・編集

兵庫県社会福祉事業団

リハビリテーションセンター西播磨病院

〒679-5165

兵庫県たつの市新宮町光都1丁目7番1号

T E L (0791)58-1050

F A X (0791)58-1071

『リハビリテーション』との関わり

西播磨総合リハビリテーションセンター所長

園田 万史

昭和48年の春に整形外科医として歩み始めてからの30有余年の間に、2度「リハビリテーション」の専門施設に勤務をしました。

初めての「リハビリテーション」の経験は、入局4年目の1年間でしたが、研修でお世話になりました玉津福祉センター・リハビリテーションセンター（現在の兵庫県立総合リハビリテーションセンターの前身）でした。

赴任直後の不慣れもありましたが、兎に角、多職種の横構造によるチームアプローチが展開されている「リハビリテーション」に面くらしい、同時に急性期医療との違いも感じながら、暫くは何とも複雑な思いでした。

しかし、体験を積み重なるにつれ、現実の社会に様々なハードルもあるために、家庭や社会復帰を目指したサポートには多様な専門職の関わりを必要とする事が次第に分かり出し、「リハビリテーション」に対する認識は変わりました。

2度目は、ずっと後ですが、平成14年から担当となりました肢体不自由児施設「のじぎく療育センター」になります。

「療育&肢体不自由児施設」について簡単に説明しますと、肢体の不自由な児童の中には、治療（入院）を受ければ教育の機会を失し、教育を受ければ未治療のため障害が残る、将来の自活が困難となる

時代がありました。

そこで、治療と教育・入院生活の規律等も同時に学ぶ「療育」を実施するため、法的に裏付けられた「肢体不自由児施設」が昭和30年代末までに各都道府県に設立され、時代に求められた社会的責任を担いました。

しかしながら、少子化傾向・時代の進歩や医療に対する安全と安心の風潮等の重層的な影響により、やがて「肢体不自由児施設」の有用地が低下を辿り、多くの施設は個々の実状に応じた様変わりを経る事になります。勿論、「のじぎく療育センター」も例外ではなく、「兵庫県立総合リハビリテーションセンター」への機能移転と決し、平成20年3月末で約半世紀に亘る歴史に幕を閉じた訳です。

かつて、「療育」の概念を構想し具現化に尽力された高木憲次（「療育の父」と後の東京帝国大学整形外科の第2代教授）は、『療育とは現代の科学を総動員して不自由な肢体を出来るだけ克服し、幸いにも回復したら、肢体の復活能力そのものを出来るだけ有効に活用し、以って自活の途の立つように

育成することである』と述べておられます。

正に現代の「リハビリテーション」を見通した見識であり、今日的には小児の「成長と発達」を最大限に促す「リハビリテーション」となるのでしょうか。

ただ、6年間という期間で垣間見た「療育」の実状は、障害が重度・重複・多様化しており、医療と言え客観性が模索されていました。

この4月から西播磨の地に参りましたので、これまでの小経験ながら敢えて「リハビリテーション」について申しますと、先ずは「運動」を出来るだけ分かり易く「科学」する事であり、それがサービスを提供する側・受ける側の双方の益に繋がるのではないのでしょうか。それに、あらゆる中枢の集合体である「脳」に新しい検査法である分子イメージングの可視化手法を応用すれば、タスク実行時に賦活された部位が眼で確認出来るため、これからの「リハビリテーション」では「脳」を「科学」する「脳科学」がキーワードになると思います。

平成19年度 入院患者様アンケート調査結果

平成20年3月、66名の入院患者様にご協力いただき、当院における医療サービス上の問題点、施設設備や療養生活の快適性などに関するアンケート調査を実施しました。

この度、その結果がまとまりましたので、ご報告いたします。なお、この場をお借りしまして、ご協力いただきました患者様には心から御礼申し上げます。

図1の患者様への支援と説明に関して問題ありとお答えの方は全体の21%を占めていましたが、その主なご意見としては、訓練の内容、病気の種類や特徴、現在の病状についての説明、診断及び治療の手順や内容についての説明、検査結果や訓練についての説明、看護の手順や内容についての説明、ナースコール等への迅速な対応、看護や訓練の丁寧さ、検査等の実施手順や薬の副作用に関する説明、各種相談の手順や内容についての説明などがありました。

図2の職員の接遇態度に関して問題ありとお答えの方は、全体の12%を占めていましたが、その主なご意見には、励ましやいたわり、暖かみのある態度、氏名が確認できない、言葉遣い、身だしなみなどがありました。

図3の職員の信頼感に関し問題ありとお答えの方は全体の17%を占めていましたが、その主なご意見には、相談への適切な対応、十分な引き継ぎによるチームでの看護、看護内容などの十分な説明、処方薬剤・訓練・検査・診断内容などの十分な説明、他職種との連絡のあり方などがありませんでした。

図4の病院設備等に関する情報で問題ありとお答えの方は、全体で20%を占めていましたが、その主なご意見には、診療科目と場所、診療日時、病院機能や治療実績が分かりにくいなどがありました。

図5の療養生活の快適性について問題ありとお答えの方は、全体の34%を占めていましたが、その主なご意見には、病棟・病室の明るさや空調、ベッドの位置などの要望に関する配慮、病棟・病室の清潔感、病室ベッドの寝心地などがありました。

図6の患者ライブラリー、トイレ、売店などの快適性に関して問題ありとお答えの方は、全体の24%を占めていましたが、その主なご意見には、デイルーム(食堂)の明るさや清潔感、患者ライブラリーの椅子や備品(図書、新聞、パソコン)、レ

ストランや売店の明るさや清潔感、トイレや浴室の快適性や清潔感などがありました。

図7の退院後の療養支援に関して問題ありとお答えの方は、全体の6%を占めていましたが、その主なご意見には、退院後の療養生活に役立つ他施設やサービスなどの紹介、退院後の療養生活に対する支援の方法や内容に関する十分な説明などがありました。

このほか、自由回答では、給食メニューや味付け、調査の時期や方法などに関するご意見なども多数お寄せいただきました。

当院といたしましては、この度の貴重なご意見を真摯に受け止め、職場内研修やあったかサポーター実践運動(職員の相互啓発事業)などを推進するとともに、院内療養環境の改善などに積極的に取り組み、患者様本位のサービスの向上に努めたいと考えております。

なお、外来患者様に対するアンケート結果については、次回、ご報告させていただきますので、ご了承ください。

リハビリテーション西播磨病院
患者サービス向上推進委員会

図-7 退院後の療養支援

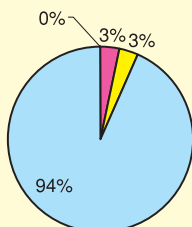


図-5 療養生活の快適性

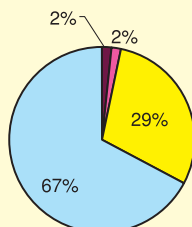


図-3 職員の信頼感

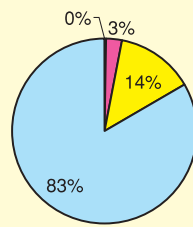


図-1 患者様への支援と説明

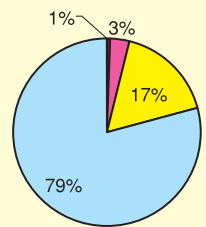


図-6 患者ライブラリー、トイレ、売店などの快適性

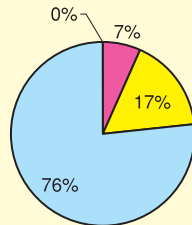


図-4 病院設備等に関する情報

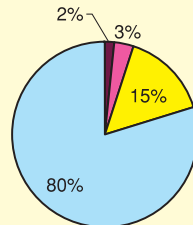
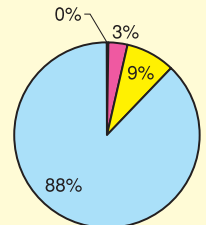


図-2 職員の接遇態度



■ 1 非常に多くの問題を感じた
■ 2 多くの問題を感じた
■ 3 少し問題を感じた
■ 4 問題は感じなかった

熱中症について

みなさま、残暑いかがお過ごしでしょうか？暑い季節に注意していただきたい熱中症についてお話したいと思います。熱中症とは、体温を調整する仕組みが上手く働かないために起こる体の異常です。実は、炎天下ばかりでなく、室内で静かに過ごしていても起こります。

【体の症状】

①熱失神 めまい、失神、顔面蒼白、呼吸回数が増加、口唇のしびれなどがみられます。脈は速くて弱くなります。

②熱疲労 大量の汗をかき、水分の補給が追いつかないと脱水が起こります。

③熱痙攣 大量に汗をかき、水だけを補給して血液の塩分濃度が低下した時に、足、腕、腹部の筋肉に痛みを伴ったけいれんがおこります。

④熱射病 体温の上昇のために異常をきたした状態です。意識障害が特徴で、頭痛、吐き気、めまいなどやショック状態などもみられます。

【予防】

運動前には負担にならない程度でできるだけ多くの水分を取りまし

よう。運動中ものの渴きを感じていなくてもこまめに水分をとりましょう。のどが渴いたと自覚したときにはすでに水分不足に陥っています。発汗によって失った水分と塩分の補給をこまめに行って下さい。スポーツドリンクなど塩分と糖分を飲みやすく配合した飲み物も良いでしょう。

①睡眠を十分にとりましょう。

②作業中はこまめに休憩を取りましょう。

③熱を吸収しにくい白めの服装を心がけ、外出の時は帽子をかぶるようにしましょう。

④日射を防ぎ、通風を良くしましょう。

⑤蓄冷剤などの利用をしましょう。

自覚症状で熱中症だと感じることはあまりありません。自分で大丈夫だと思っても「おかしい」と思った時には症状が進んでしまします。

高温多湿の体育館内での運動中などに寒気などがあるなど、そういったときは熱中症の兆候を疑って、早めに予防していきましょう。

このようなことを参考に熱中症に注意し、快適な生活を送りましょう。

(看護部)

シップ薬の副作用 「光線過敏症」

肩こりや足腰の痛みに手軽にはれるシップ薬、そんな手軽なシップ薬にも副作用がある事をご存知ですか？副作用の中でも特に注意していただきたいのが「光線過敏症」と呼ばれる副作用です。

「光線過敏症」とは、シップ薬の一部の有効成分と紫外線が反応して起こる皮膚炎で、シップがはった部分だけに水ぶくれができたり、ひどくはれて熱をもつたりします。ひどくなると皮膚炎が全身におよぶこともあります。

シップ薬の有効成分は、シップをはがしたあとも、しばらくは皮膚の中に残っているため、このような事が起こるといわれています。

おなじように、消炎鎮痛薬が入ったぬり薬などでも起こることがあるので注意が必要です。



【診断】

光線過敏症を診断するための特別な検査はなく、はじめに皮膚が露出した部分だけに発疹がでた場合は、光線過敏症を疑います。その時、他の病気、使っている薬、化粧品などを調べると原因を特定するのに役立ちます。

【予防】

必ず起こるといいう副作用ではありませんが、起こらないように予防をすることが大切です。光線過敏症は日光に当たって起こるので、シップのはった部分に当たることを日光に当てないようにすることで防ぐことができます。しかしシップをはがしてから数週間後に発症した人もいますので、少なくとも4週間は、日光を避ける必要があるといわれています。外出時は長袖のシャツを着たり、日傘や日焼け止めを使うとよいでしょう。

ただし、日焼け止めの中には、シップ薬による光線過敏症と相性の悪い「オキシベンゾン」という成分を含むものがあるので、成分を確かめるか、薬剤師などに相談してください。

(薬剤部)

新人スタッフ 便り



リハビリ療法部
作業療法科
高井 結美

作業療法士になり、この西播磨総合リハビリテーションセンターで働き始めてから三ヶ月が経過しました。少しずつ緊張がほぐれ、病院の雰囲気にも慣れてきたように感じています。しかし知識や技術は不十分な面もあり、課題は尽きません。すべてが新しいことへの挑戦であり不安や緊張もありますが、先輩方のサポートを受け、日々励んでいます。

この三ヶ月間で様々な患者様とふれあい、感じたことは、患者様にとって一日一日、そして訓練時間はとても貴重な時間であるということです。その大切な時間に作業療法士として関わる事ができることを大変うれしく思っています。同時に、「待った」も「しまった」も許されない、責任の大きさを痛感しています。充実と苦勞の両極面をもちあわせているこの現状を楽しんでおり、作業療法という仕事の奥深さを感じています。これからも患者様の笑顔とパワーの源に、患者様ひとりひとりと真摯に向き合う中で、自分自身を成長させていきたいと考えています。



看護部
山本 洋史

僕は今年この西播磨病院に就職しました。僕にとつての初めての職場は、新しく覚えることばかりで、本当に緊張の毎日です。また、多種多様な患者様がおられ、一人一人の患者様のADLも把握しきれない僕は、日常生活の介助も中々うまくいきません。そんな僕に、患者様の中には正直に、下手だとか、遅いなどと言われる方もいます。そのことが辛いと思う時も勿論ありましたが、正直に伝えてもらうことで、患者様から学ばせてもらいました。

三ヶ月ほどたつて仕事にも徐々に慣れ、少しずつですが、介助もスムーズに行えるようになってきたと思います。初め僕の介助が下手だと言っていたあの患者様も、退院前には「うまくなったよな。今までありがとうな。」と声をかけてくれました。その言葉は励みとなり辛いことも忘れさせてくれます。この仕事は本当に患者様と関わることに楽しさがあるのだと感じます。これから、患者様と関わりを大事にして、患者様と良い関係を築くことを目標に頑張りたいです。

「ふれあいリハフェスタin西播磨」開催のご案内！

当センターご利用様をはじめ地域住民の皆様との交流の促進や西播磨地域におけるリハビリテーションネットワーク等の一層の発展を願い、秋のひとときを共に楽しみながら学ぶ「ふれあいリハフェスタin西播磨」を開催いたします。

障害のある方やご高齢の方はもちろん、子供さんから大人まで、だれでも気軽に参加し楽しめることをねらいとした「ユニバーサル」をメインテーマとして、様々な催しを提案して参りたいと考えています。どうか皆様ご家族連れで参加いただきますようお願い申し上げます。



- 開催日時：平成20年10月25日(土) 10:00～15:00
- 会場：西播磨総合リハビリテーションセンター
- 主な催し



- | | |
|-----------------|----------------------------|
| ◇屋外広場 野外ステージ | : 歌、踊り、演奏 |
| ◇フリーマーケット | : 農作物等の販売 |
| ◇作業所等のバザー | : 生産品、日用雑貨等の販売 |
| ◇ボランティア・パフォーマンス | : 生花ライブ・野点など |
| ◇露店 | : 地元名物の販売 |
| ◇陶芸、絵画等の展示会 | : 地元有志による出展 |
| ◇健康教室、健康相談コーナー | : 看護師等による各種相談 |
| ◇福祉用具ミニ教室、ミニ展示会 | : リハビリ関係の実演・演習・試供品等の提供 |
| ◇福祉用具展示ホール | : ユニバーサルグッズの体験 |
| ◇ふれあいスポーツ交流館 | : 施設の無料開放とユニバーサルスポーツ等の体験 |
| ◇センター芝生広場 | : (午前) 交流グラウンドゴルフ大会 <予約制> |
| | : (午後) 交流グラウンドゴルフ体験大会<飛入制> |

